

リクルート進学総研

将来の社会が明るいと思う高校生は49%、 景気回復の期待などから2012年の1.6倍に増加

～76%の高校生が「現在幸せ」～

－高校生の社会観・世代観・グローバル化と地元志向「高校生価値意識調査2014」－

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都千代田区 代表取締役社長 富塚 優）が運営する、高等教育機関、高校生、進路選択に関する各種調査や社外に向けての情報発信を行う、リクルート進学総研（所長：小林 浩）は、高校生の社会観・キャリア観・進学観・ライフデザインに関する調査「高校生価値意識調査」を実施いたしました。この度調査結果がまとまりましたので、一部をご報告いたします。

高校生の社会観

- 将来の社会が明るいと思う高校生が前回調査（2012年）の31%から増加し、49%となった。しかし依然として52%の高校生は社会不安を抱いている。

- ・ 社会人になるころの社会は明るい 2009年:39.1%→2012年:31.0%→2014年:48.5%
- ・ 社会人になるころの社会 明るい：48.5% < 明るくない：51.5%
- ・ 社会が明るいと思う理由は、東京オリンピックやアベノミクス効果による景気回復への期待。一方明るくないと思う理由は、少子高齢化や就職難などへの不安。

- 一方、自分の将来が明るいと思う高校生も前回調査（2012年）の55%から増加し、64%に。また、76%の高校生が「現在幸せである」と感じている。

- ・ 自分自身の将来 明るい：63.7% > 明るくない：36.3%
- ・ 現在幸せだと思う：75.9% > 幸せではない：19.5%

高校生の世代観

- 自分たちの世代の「強み」は、「インターネット」（4%）がトップ。一方で、「弱み」のトップは、「ゆとり教育」（22%）となった。※自由記述のコーディング集計

グローバル化と地元志向

- グローバル化は自分に関係があると認識している高校生は72%だが、海外で働きたいと考えている高校生は23%にとどまる。海外で働きたいと思わない理由のトップは“語学力不足”（62%）。

- ・ グローバル化は自分に関係がある 2012年：74.4% → 2014年：72.0%
- ・ 将来、海外で働きたいと思う：23.1%

- 一方、地元の学校に進学したい高校生は46%と、出たいと思う高校生（28%）を上回る。地元に残りたい理由のトップは“経済的理由”（58%）。

- ・ 進学する際は地元に残りたい：45.5% > 地元を出たい：27.7%

※出版・印刷物へデータを転載する際には、“「高校生価値意識調査2014」リクルート進学総研調べ”と明記ください。

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

【リクルート進学総研 WEBサイト】 <http://souken.shingakunet.com/>